

伊方町観光交流拠点施設整備工事設計概要

1. これまでの取り組み

平成29年	6月	アンケート調査 (施設利用者や周辺住民を対象)
	7月	施設整備検討
	10月	設計事業者公募
平成30年	1月	事業協力者公募
	2月	事業協力者決定
	3月	設計事業者決定

2. 基本設計概要(平成30年8月完成)

(1) 基本設計の考え方

「伊方町の西の玄関口として、観光案内、休憩所、販売及び集客できる施設」を基本方針とし、エネルギービジョンに則した設備導入をはじめ、既存施設との調和、利用者目線での魅力や利便性の向上、管理運営目線では、十分な集客を見込める効果的な配置や動線、管理上効率の良い構造や建材、設備の導入、フェリー客の導線等を検討し設計にあたった。

施設の特徴としては、エネルギービジョンの一環として、建物の運用段階でのエネルギー消費量を、省エネや再生可能エネルギーの利用をとおして削減し、限りなくゼロにするという「ZEB」を四国で初めて導入予定。

建物の意匠としては、訪れた方が施設内のどこでも楽しめる施設となるよう、日本一細長い佐田岬半島をイメージし、既存施設と横並びに県道側方面から宇和海に向かって長く配置。

飲食や物販、イベント及び展望施設等、各施設を長い廊下でつなぎ、廊下の壁には石垣を積み上げ、廊下の先には宇和海を望む展望デッキを設置した。

(2) 敷地面積 6,579m²

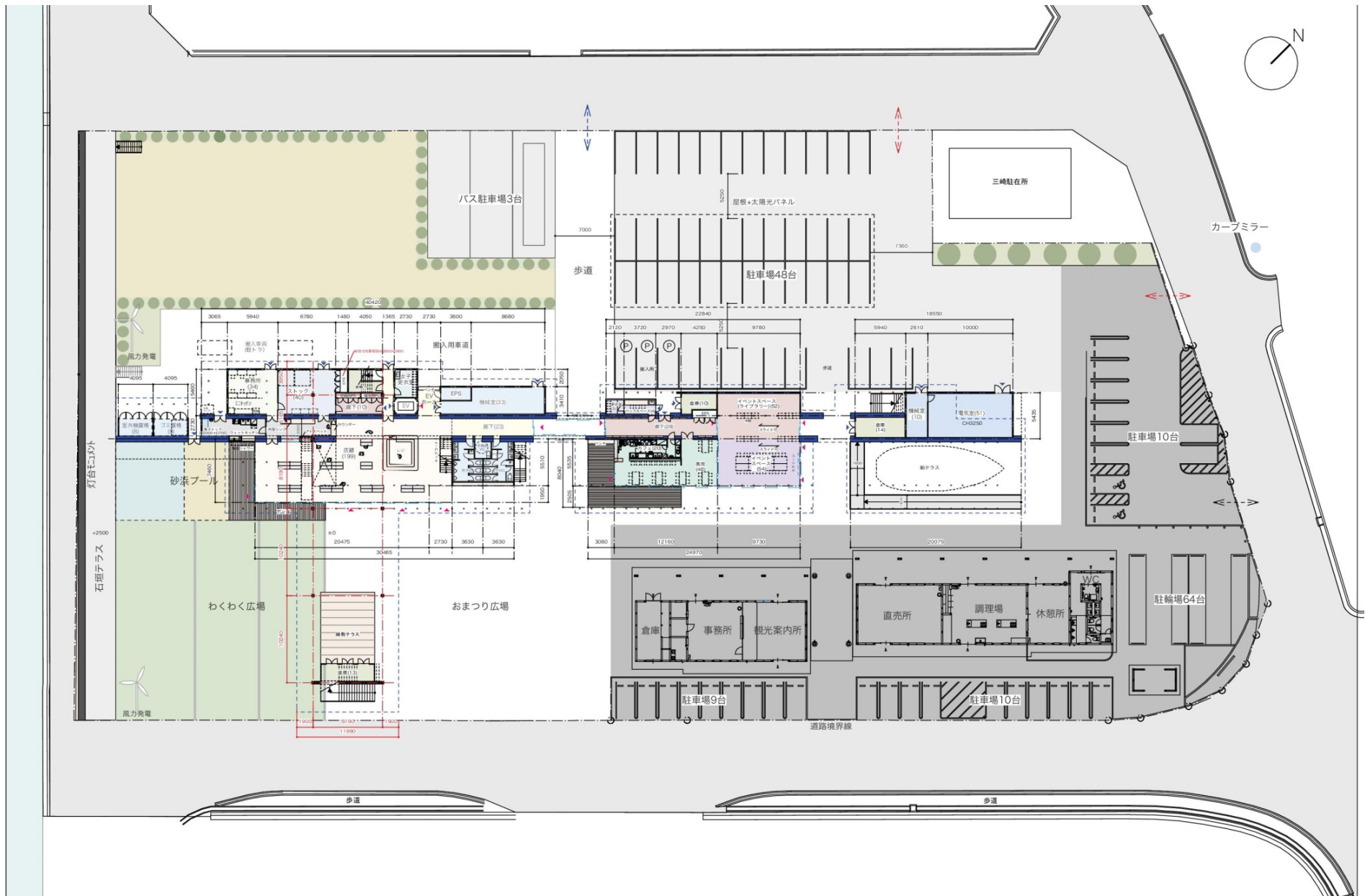
(3) 延床面積 約1,900m²

(4) 建物の構造 RC造+木造ほか 3棟(県道側から順にA,B,C)

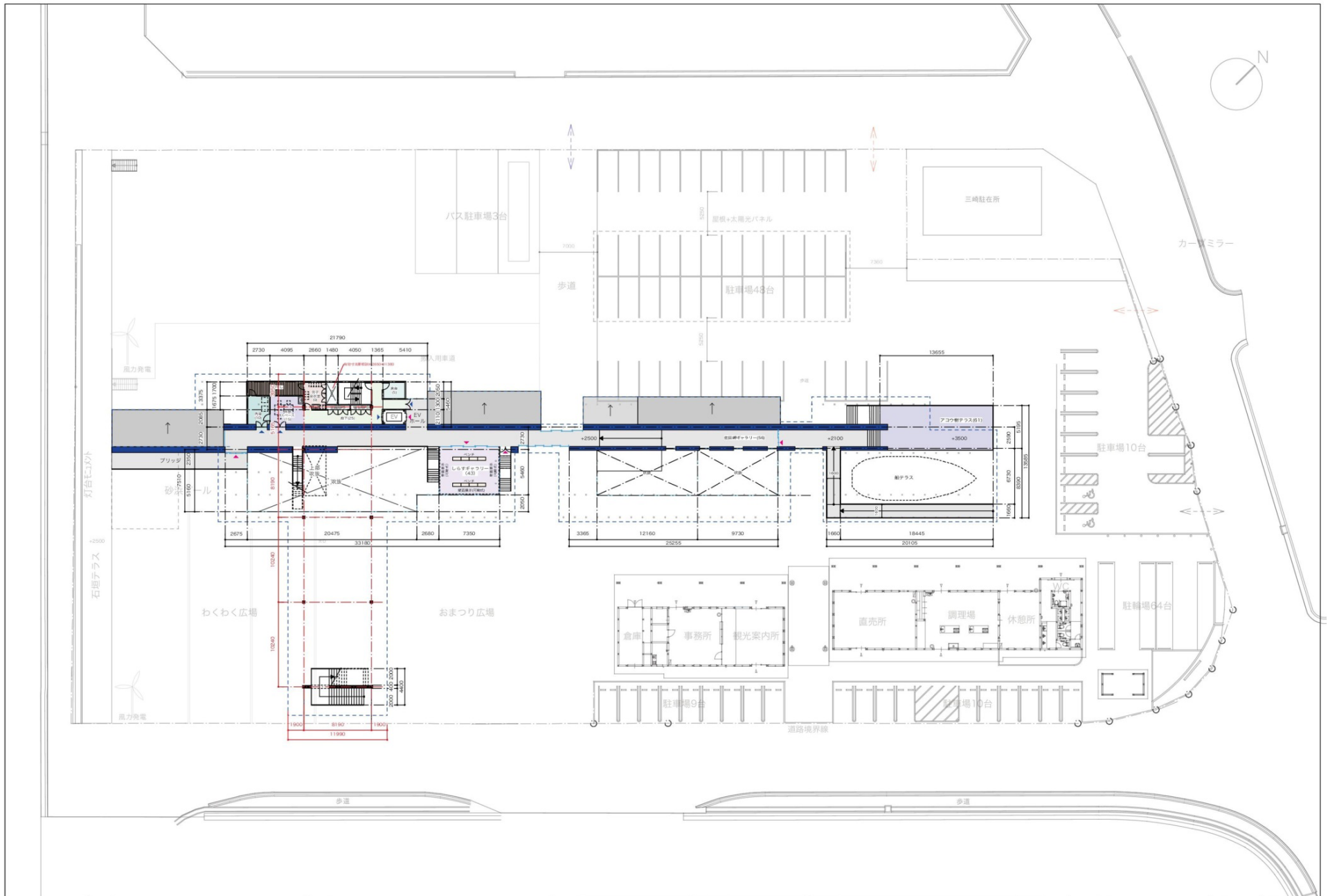
- ・A棟(アコウ樹テラス):RC造(壁面・柱)+木造(柱・屋根)
- ・B棟(カフェ・イベント):RC造(壁・柱)+木造(柱・屋根)
- ・C-1棟(店舗・ギャラリー棟):RC造(壁・柱)+木造(柱・屋根)
- ・C-2棟(食堂):RC造(ピロティ柱・2階床)+鉄骨造(2階柱・屋根)

(5) 施設・設備

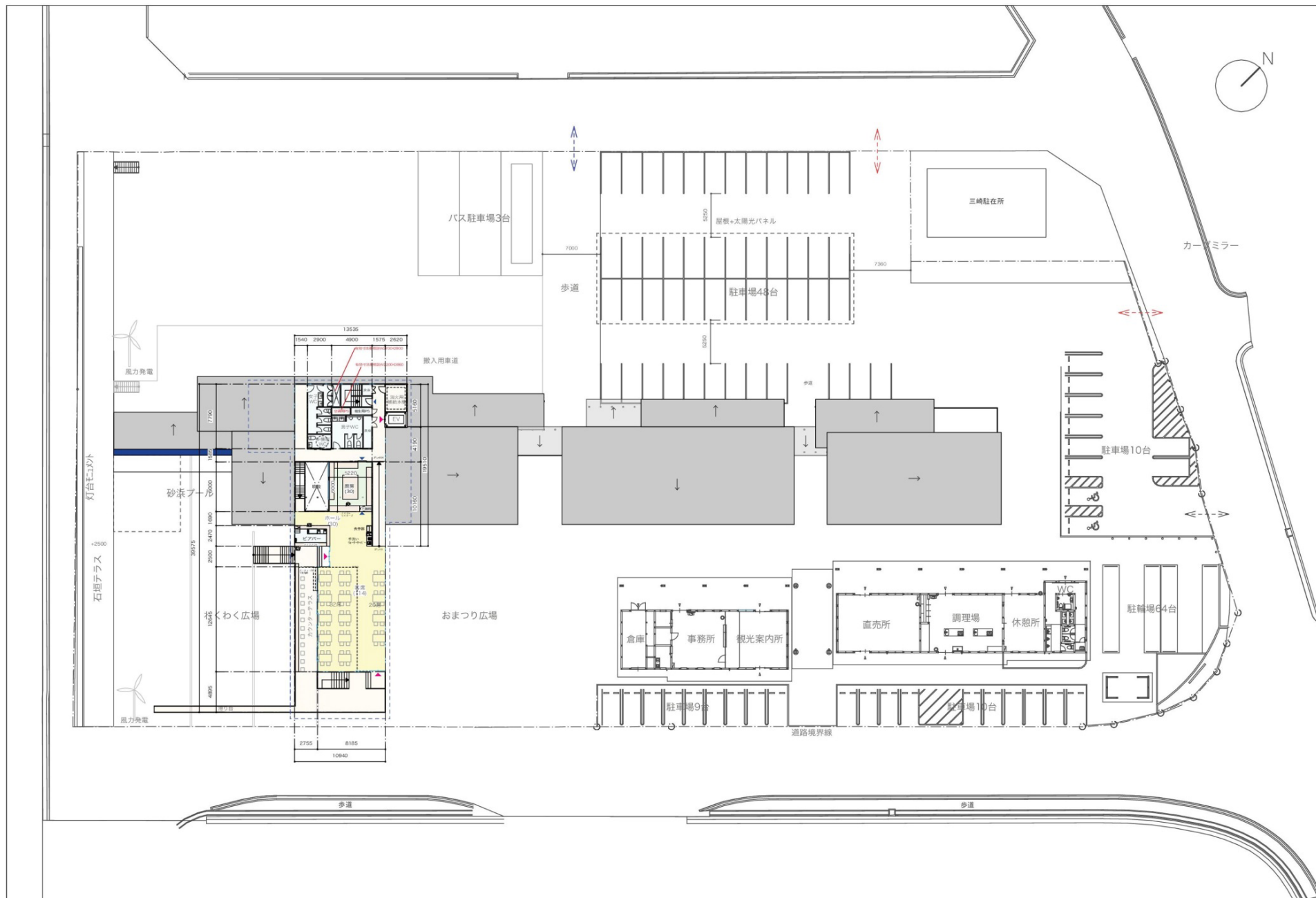
- ① 飲食施設(レストラン、カフェ)
- ② 物販施設(出展スペース)
- ③ 多目的(イベント)スペース
- ④ 休憩スペース
- ⑤ 展望スペース
- ⑥ トイレ
- ⑦ 大型バス駐車場



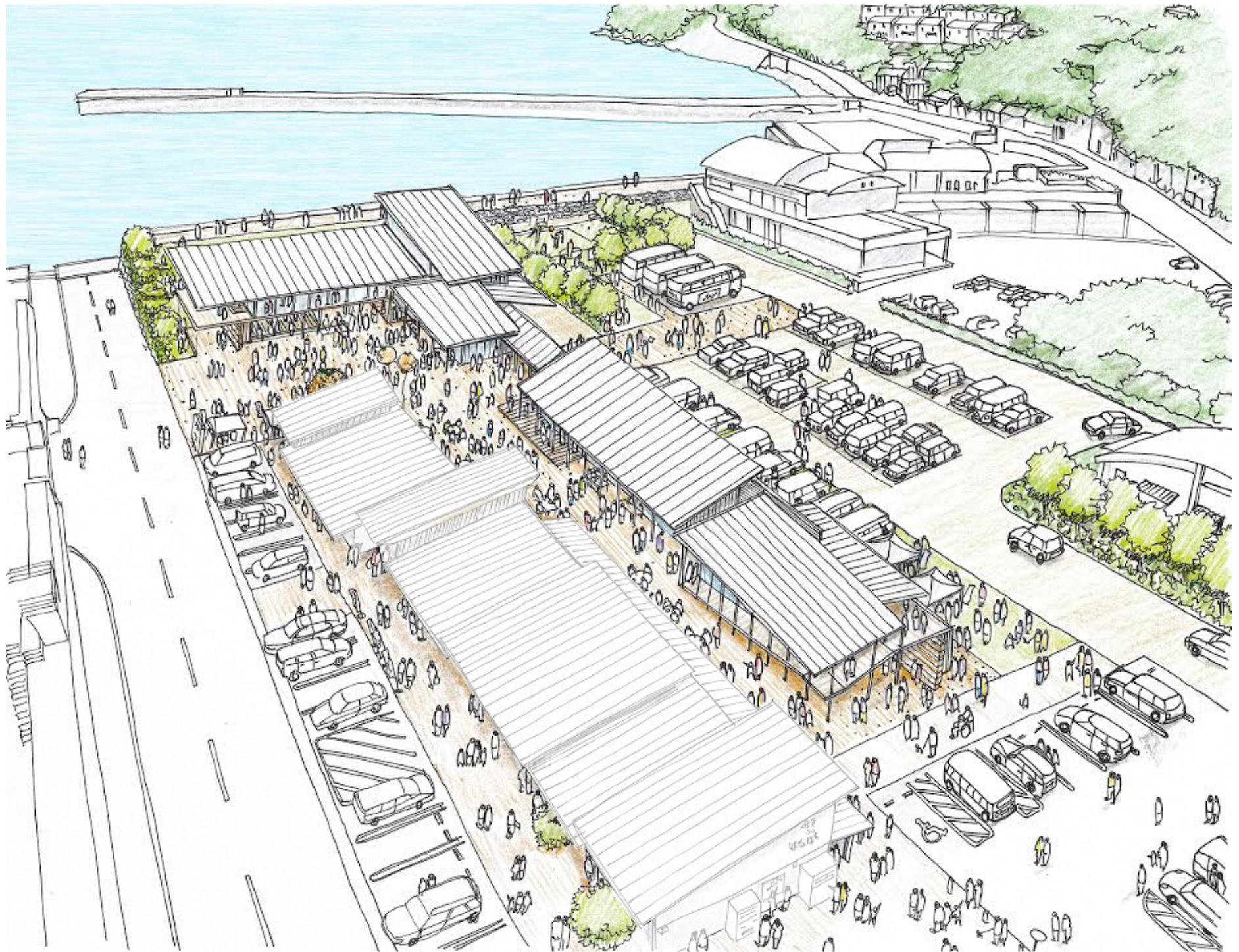
日付 2018.08.14	本業務担当課 伊方町役場 産業課観光商工室	設計 京・山口設計共同企業体 シナリ建築設計事務所 + 京智健建築設計事務所	設計段階 基本設計	事業名称 伊方町観光交流拠点施設整備工事設計業務	図面名称	縮尺 1/400	図面番号
------------------	--------------------------	----------------------------------------------	--------------	-----------------------------	------	-------------	------



日付 2018.08.14	本業務担当課 伊方町役場 産業課観光商工室	設計 京・山口設計共同企業体 シナリ建築設計事務所 + 京智健建築設計事務所	設計段階 基本設計	事業名称 伊方町観光交流拠点施設整備工事設計業務	図面名称	縮尺 1/400	図面番号
------------------	--------------------------	----------------------------------------------	--------------	-----------------------------	------	-------------	------



日付 2018.08.14	本業務担当課 伊方町役場 産業課観光商工室	設計 京・山口設計共同企業体 シイナリ建築設計事務所 + 京智健建築設計事務所	設計段階 基本設計	事業名称 伊方町観光交流拠点施設整備工事設計業務	図面名称	縮尺 1/400	図面番号
------------------	--------------------------	-----------------------------------------------	--------------	-----------------------------	------	-------------	------



伊方町地域エネルギービジョン関連整備概要

■ 伊方町観光交流拠点 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)を 目指した省エネルギー・創エネルギー(案)

- ・ZEBとは、構造や設備の省エネルギーを図ったり、再生可能エネルギーを利用したりすることによって、総エネルギー消費量がゼロあるいはゼロに近い数値となる建築物です。
 - ・Nearly ZEB(*)実現のため、高断熱や日射遮蔽など機械や電力を使わない方法のほか、積極的に“地中熱”や“太陽光”といった自然エネルギー利用を行います。
 - ・地域の気候・建物用途を考慮し、放射冷暖房を活用することで室内環境向上をはかります。
 - ・様々な省エネ・創エネ手法を見える化し、“エネルギーのふるさと伊方町”をアピールします。
- (*)ZEBには3種類の段階(ZEB Ready / Nearly ZEB / ZEB)があります。Nearly ZEBとは、真ん中の段階で標準的な建物から75%以上の省エネルギーを目指すものです。

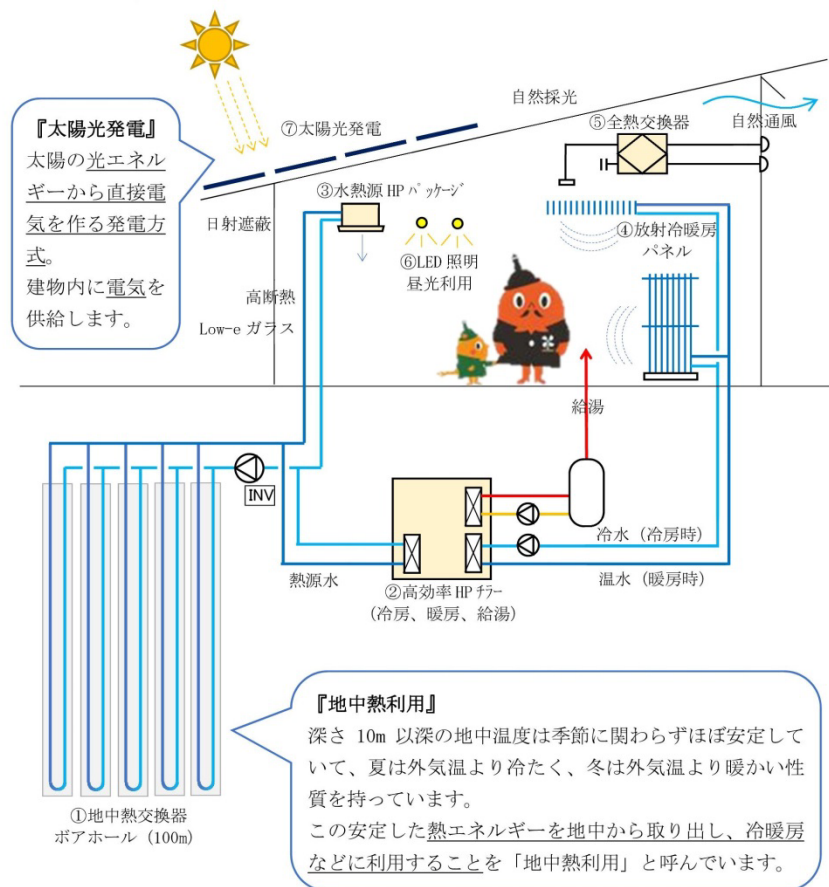


図 省エネルギー・創エネルギーのイメージ図

① 地中熱交換器 (ボアホール)



敷地内に設置予定のボアホール(地中熱交換井)に熱交換チューブを挿入し、冷房時は地中に放熱、暖房時は地中より採熱する。(写真:ミサワ環境技術(株)パンフレットより)

② 高効率ヒートポンプチャラー (地中熱対応)



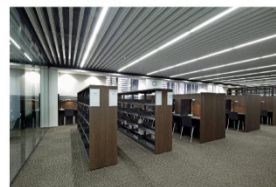
地中熱を利用して、冷水・温水を造る熱源機。冷房、暖房、給湯をこれ一台で行うことも可能。

③ 水熱源ヒートポンプパッケージ (地中熱対応)



地中熱を利用した水冷エアコン。室外機を持たないため塩害対策にも有効。

④ 放射冷暖房パネル



天井タイプ



壁タイプ

地中熱により作った冷温水をパネルに通して暖房・冷房する。冷房時はパネルで結露させて除湿することも可能。目に見える機器であるため、地中熱の教育・普及効果も期待できる。

⑤ 全熱交換器 居室の換気に用い排熱回収する。

⑥ LED 照明、昼光利用

LED により、従来の照明器具より大幅に消費電力を削減。照度センサーにより、昼光(自然光)のみで十分明るさが確保できるときは照明を OFF する制御を組み込む。

⑦ 太陽光発電



建材一体タイプ



屋根置タイプ

敷地内や建物屋根などに設置する太陽光発電パネルにより発電する。一般的な屋根置タイプや、架台に設置するタイプ、庇や壁面に設置する建材一体タイプなど、様々なものがある。